

県中小企業団体中央会創立50周年記念式典

節目の年を盛大に祝う

県中小企業団体中央会(玉利半三会長)は8日、鹿兒島市の城山観光ホテルで創立50周年記念式典



式典では冒頭、玉利会長が「中小企業の振興と組織化の推進を目的に設立された50年の節目を迎えました。幾多の不況の荒波を乗り越え、会員数も700を超え、鹿兒島の城山観光ホテルで各種表彰も行われた式典」

鹿屋建友会青年部 経営者講習会

社会的貢献が重要

調査研究部長、現助マンシオン管理センター常務理事・東京在中)を招き、公共工事品確法と改正独禁法について講義を受け、地方建設業のこれからを学んだ。

鹿屋建設業者にとっての公共工事品確法(総合評価方式)と改正独禁法



高橋氏は、初めに建設投資額(名目)、許可業者数の推移など取り巻く状況等から講義に入り、公共工事品確法の基本方針

し上げます。大きな変革やニーズの複雑化などに対応して活躍してください」と祝辞を寄せたほか、金子万寿夫県議会議長、森博幸鹿兒島市長、佐伯昭雄全国中小企業団体中央会会長、大西洋逸鹿兒島商工会議所会頭もそれぞれ祝辞を述べた。

生コンクリート技術講習会

ひび割れ補修学ぶ

県建設業協会宮之城支部(白川田廣八支部長)は7日、さつま町の宮之城建設会館で生コンクリート技術講習会を開き、会員企業の技術者ら51人が受講した。

「コンクリートの乾燥収縮について」のビデオ収録の後、金子光臣太平洋セメント(株)南九州営業所副所長が「ひび割れ補修について」

講師の説明を熱心に聴き入る受講者。さつま町の宮之城建設会館で



宮之城地区生コンクリート協同組合の原達則事務局長は「白川田支部長の熱心な要請もあって毎年、技術研修会を開催しています。今回の講習で耐久性向上のための技術を学んでいただければ」と話した。

笠利建友会安全パト

安全管理の認識新た

笠利建友会(山下義和会長)は6日、笠利町内で安全パトロールを行い、年末の忙しい時期に事故を起さないよう啓発活動を行った。

安全管理や安全施工、クールの重機災害防止、崩壊・倒壊防止などの取り組みが正しくなされているかチェックした。この日は道路改良(赤木名土盛線)や基盤整備促進事業(辺留地区)、笠利地区汚水管路施設など町内



現場事務所を視察するパト一行。笠利町の

9現場を回り、現場代理人や作業員に安全管理の徹底を呼び掛けた。

夕方の反省会で山下会長は「今回の安全パトロールを通じて、会員の方々には安全管理に対する認識を一層高め、事故防止に努めるとともに、今回指摘されたことを改善し今後の業務に生かしてほしい」と挨拶。

総括ではいくつか改善点があったもののおおむね良好との判断を示した。

建設管理センター、合格対策講座

来月は名瀬でも開催



国土交通大臣資格の土木施工管理技士など各施工管理技士を取得するための「合格対策講座」(主催・建設管理センター)が6日、鹿兒島市の県市町村自治会館で開かれた。

同センターでは、全国50会場(九州は9会場)で研修会を開催しており、年間受講者数は1万6000人に及ぶ。独自の受験対策により、出題ポイントを中心に解説。合格レベルに到達するまで繰

今回の講座は、専任講師の奥田恵利矢氏がオリジナルテキストを用いて、第1回目の施工計画と建設業法を分かりやすく解説。参加した約30人は合格に向け熱心に受講した。

また、16年から新設した名瀬会場も18年1月21日、名瀬市の奄美文化センターで開催する。各会場員制のため、早めの申し込みを呼び掛けている。

県議会、一般質問

マリンポートかごしまについて

17年県議会第4回定例会は9日、4議員による一般質問を行う。主な質問事項は次の通り。

- 【宇田隆光議員】国の財政改革と本県への影響
- 【鶴田孝雄議員】産業クラスター事業・高校再編後の跡地対策

- 【川内川改修について】
- 【鶴園真佐彦議員】

- 【宇田隆光議員】公共下水道整備、農業農村整備事業
- 【鶴園真佐彦議員】公立高校再編整備について

- 【宇田隆光議員】国共通受講案内フリーダイヤル0120-14-5353まで。

まについて

分かりやすく説明された講座。鹿兒島市の県市町村自治会館で。なお、今回参加できなかった受講希望者に対して、18年1月27日からスタートするコースを設けており、受講者の受け付けを随時行っている。開催講座は、土木・建築・電気工事・管工事・造園・建設機械の1・2級施工管理技士。この講座は、厚生労働大臣指定教育訓練講座となっているほか、キャリア形成促進助成金制度の適用も可能。また、16年から新設した名瀬会場も18年1月21日、名瀬市の奄美文化センターで開催する。各会場員制のため、早めの申し込みを呼び掛けている。